

令和6年度 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち
農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型)
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)」別記1の第4の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した北海道内の5地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が5地区との評価結果となった。

3. 各地区の評価結果
5件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
本省	北海道	当別町	亜麻のふるさと当別活性化協議会				●	●	● ■			A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がA評価、③事業実施体制がA評価であり、全てA評価となっているため、総合的評価をA評価とする。 亜麻アプリ更新・機能追加、亜麻畑整備、亜麻の魅力を伝えるモニターツアー等を実施し、目標を達成することができた。 今後は、協議会による自主事業として継続的に活動を行うこととされており、亜麻の魅力を地域内外へ発信し、事業が発展することを期待したい。
本省	北海道	岩見沢市	北村地域イノベーション推進協議会					●	●	○ □		A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がA評価、③事業実施体制がA評価であり、全てA評価となっているため、総合的評価をA評価とする。 北村の自然環境や歴史等の授業を開催し、小・中学校による地域ガイド育成のためスキルアップに努め、イベントの開催により、都市との交流により、関係人口増加を図った。そのほかSNSなどを用いた情報発信の取組、SNSに用いる動画編集及び情報発信ノウハウ指導等を実施し、概ね目標を達成することができた。今後も事業計画に基づく取組を着実に実施し、事業が発展することを期待したい。

本省	北海道	栗山町	くりやま地域活性化協議会							●	●	○	□	A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がA評価、③事業実施体制がA評価であり、全てA評価となっているため、総合的評価をA評価とする。 多様な農のライフスタイルの実践や体験型ワークショップを通して、地域と農家の繋がり、継続的な取組への関係構築、食の意識向上に取り組んだ。また、多様な農のライフスタイルの浸透を図るためのイベント・PR動画制作等を実施し、SNSを活用した情報発信を行い、目標を達成することができた。今後も事業計画に基づく取組を着実に実施し、事業が発展することを期待したい。	
本省	北海道	根室市	落石地区マリンビジョン協議会								●	○	○	□	A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がA評価、③事業実施体制がA評価であり、全てA評価となっているため、総合的評価をA評価とする。 先進地視察、旅行会社との意見交換、体験学習を通じて、取り組みに対する意欲の向上や新たな知見を取得することができた。また、SNSにおいて積極的に情報発信を行い、多くのフォロワーを獲得できた。 今後も事業計画に基づく取組を着実に実施しつつ、事業が発展することを期待したい。
本省	北海道	幌加内町	幌加内町担い手確保対策協議会								●	○	○	□	A	①取組の実施状況がA評価、②事業実績がB評価、③事業実施体制がA評価であり、A評価が半数以上であり、かつ、C評価がないため総合的評価をA評価とする。 ニーズ調査、ディープ調査により、町内外の幌加内町に対する関心度を把握することができた。また、体験ツアーの企画を行い、来年度の体験ツアー実施の体制構築を図った。 今後も、体験ツアーの実施やSNS発信により、関係人口のさらなる増加に期待したい。

(注1)「事業実施段階」の凡例：ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)

重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分： A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)」別記1の第4の2の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:大江靖雄(東京農業大学客員教授)

委員:市田知子(明治大学教授)、加藤由紀子(北海商科大学非常勤講師)、木村宏(北海道大学客員教授)、森久美子(作家・拓殖大学北海道短期大学客員教授)

【令和7年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 :令和7年7月28日(月) 13:25～16:40 2 場 所 :農林水産省農村振興局第5会議室 3 出席委員:大江委員長、市田委員、加藤委員、木村委員、森委員 4 議事概要 ① 令和7年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和7年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和6年度に事業を実施した5地区の取組概要、評価案に関して説明し、質疑応答を行った。 5 主な意見 ・ 情報発信は重要であり、より地域の魅力が伝わるような取組を行っていくべき。
第2回評価委員会
1 日 時 :令和7年8月25日(月) 13:30～15:35 2 場 所 :オンライン 3 出席委員 : 大江委員長、加藤委員、木村委員、森委員 4 議事概要 ・ 第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案 令和6年度に事業を実施した5地区の評価案等に関して、了承を得た。 5 主な意見 なし